

報 告

令 和 4 年 8 月 18 日  
環 境 局  
再生可能エネルギー導入推進課

# 第三セクターの経営情報について

(株式会社北九州パワー)

## 1 会社概況（令和4年3月末現在）

（1）所在地	北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号
（2）設立年月日	平成27年12月1日
（3）代表者	代表取締役 富高 紳夫
（4）資本金	60,000千円
（5）北九州市の出資金	14,500千円（出資の割合 24.17%）
（6）当期末従業員	9名

## 2 令和3年度事業報告

### （1）事業の経過と状況

株式会社北九州パワーは、低炭素エネルギーの地産池消による「市内産業の下支え」と「市内の低炭素化」の実現のため、事業を行っている。一方、「2025年北九州市公共施設の再エネ100%電力化」のように、低炭素から更に進んだ「脱炭素社会」に向けた取り組みについても、実現に向け推し進めているところである。

電力事業の収益状況については、令和2年度に発生した卸電力取引市場単価の異常高騰が一旦落ち着き、当期純利益は、25,852千円の黒字となった。

環境省から委託を受けた「北九州市における地域の再エネを有効活用したCO<sub>2</sub>フリー水素製造・供給実証事業」は3年中の2年目を終え、令和3年11月には、事業の開所式を行い、脱炭素に向けた当社の取り組みを市民に大きくアピールした。

今期より試験導入的にスタートした太陽光パネル、EV・蓄電池、省エネ機器の第三者所有モデル事業については、脱炭素社会推進のツールとして、また、卸電力取引市場からの購入電力量削減による経営の安定化のため、公共および民間の需要家において、次年度以降、累積設置件数を増加していく予定である。

### （2）契約の状況

令和4年3月末時点で契約施設数は778、契約規模は81,675kWであった。

### （3）販売の状況

当期の小売販売量は150,508MWhであった。

### （4）財務の状況

経常利益	4,230万円	（R2：△3億7,537万円）
当期純利益	2,585万円	（R2：△3億4,949万円）

#### (5) その他

令和4年度も引き続き、卸売電力市場価格高騰に備え、固定単価で調達可能な相対電源の割合を増やすことで、卸売電力市場からの購入の割合を相対的に減らし、同様の高騰が発生した場合の影響を小さく留めるなどの対応を検討している。

また、「再エネ 100%北九州モデル」により、太陽光パネル、蓄電池及び省エネ機器を第三者が所有し、北九州パワーが機器の定額の利用料金、需要家が電気料金を支払う形で、初期コスト不要の安定・安価な電力供給システムを構築していく。

### 3 決算報告書

#### 損益計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額
売上高 ①	3,221,633,335
売上原価 ②	1,556,178,551
販売費一般管理費 ③	1,648,021,429
営業利益 ①－②－③＝④	17,433,355
営業外収益 ⑤	24,874,383
営業外費用 ⑥	0
経常利益 ④＋⑤－⑥＝⑦	42,307,738
特別利益 ⑧	0
税引前当期純利益 ⑦＋⑧＝⑨	42,307,738
法人税・住民税及び事業税 ⑩	△ 16,454,852
過年度法人税等還付税額 ⑪	0
当期純利益 ⑨＋⑩＋⑪＝⑫	25,852,886

#### 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	976,215,878	流動負債	698,708,061
固定資産	89,136,177	固定負債	249,909,682
有形固定資産	1,903,701	負債合計	948,617,743
無形固定資産	2,786,639	資本金	60,000,000
投資その他資産	84,446,437	利益剰余金	56,734,912
		純資産合計	116,734,912
合 計	1,065,352,055	合 計	1,065,352,655